

授業科目間の成績評価基準の
平準化のためのGP調査
— 教学IRをきっかけとする教学改善の事例 —

2023年9月22日（金）
教育改革推進委員会にて報告

IR推進センター

調査目的

■ 教員間および授業科目間の成績評価基準の平準化のため
および退学防止のため

(1) 教員間および授業科目間の成績評価基準の平準化のため

GPAを用いた成績評価基準の平準化が求められている。本調査は、本学学生や、その中でも退学者において、どのようなGPの分布であったかを分析し、学科に成績評価基準の平準化につながる提案になればよいと考える。

(2) 退学防止のため

退学者が不合格になりやすい科目の把握をすることで、学科のカリキュラム改善、学生の学修の個別支援などに繋がる提案になればよいと考える。

調査方法および改善会議の実施

平均不可率より高い科目を抽出し、E率M率を出したグラフを作成し可視化した。
その上で改善会議を実施した。

(1) 調査方法

教学システムの科目履修データ（2019～2022年度分）を用いて、科目ごとの不可率を調査した。また、退学者のみに不可の多い科目も抽出した。

今回は必修科目のみを取り扱った。（必修科目と選択科目では、不可率が異なるため。）

秀、優、良、可の評価がついたものを「合格」E,Mの評価がついたものを「不合格」として測定を行った。さらに、E取得者とM取得者では、科目への取り組み方に違いがあるため、集計結果には、EとMそれぞれ何パーセントかという結果を明記した。

(2) 改善会議の実施

工学部全学科の集計を行い、平均不可率を出し、それ以上の値のある科目を抽出し、各学科長とともに、および基幹教育センター長にデータを見ていただく会議を開催した。そこで、不可率の高い科目に対して、改善案を出していった。

本調査をきっかけとする教学改善の事例

学科	科目名	取組の依頼	2023年前期改善
機械システム工学	科目A	ベクトルの計算等がカリキュラムに含まれるので、基幹教育センターでフォローをしていただくようにご依頼した。 この科目は、3名の教員で習熟度別でクラス分けがなされていることなど、しばらくはこの体制で学科において対応ご検討いただくことをご依頼をした。	後期開講のため結果は出ていない。
	科目B	E率M率が高いので、学科において対応ご検討いただくことをご依頼した。	M率が7.4%から5.3%に下がった。
	科目C	E率M率が高いので、学科において対応ご検討いただくことをご依頼した。	M率が8.6%から1.0%に下がった。
	科目D	E率M率が高いので、学科において対応ご検討いただくことをご依頼した。	M率が3%から2.9%に下がった。
交通機械工学	科目E	E率M率が高いので、学科において対応ご検討いただくことをご依頼した。	E率が17.0%から16.4%に、M率4.5%から3.6%に下がった。
	科目F	E率M率が高いので、学科において対応ご検討いただくことをご依頼した。	E率が8.7%から5.2%に下がった。
建築・設備工学	科目GおよびH	基幹教育センターにおいて関連する物理の内容(力学)について支援を行っていくことを予定している。各科目担当者より高リスク学生をリストアップし基幹教育センターでの指導を指示、センターからも学生呼び出しの連絡等を行い、学生の利用を促す。	「科目G」2023年度前期のみの結果では、不可率は上昇した。 「科目H」は過去データがないが、2023年度前期はE率10.6%、M率2.4%であった。
	科目I	E率M率が高いので、学科において対応ご検討いただくことをご依頼した。	E率が7.6%から6%へ、M率が5.8%から4%へ下がった。
情報ネットワーク工学	「科目J」および「科目K」	各科目担当者より授業内での小テスト等の結果に基づき、高リスク学生をリストアップし基幹教育センターでの指導の指示がなされるように改善が行われるとのこと。センターからも学生呼び出しの連絡等を行い、学生の利用を促す。科目で利用する教材・課題等についても科目担当者とセンターで共有するなどして連携を図り、効果的な支援を行うこととなった。	「科目J」M率が4.9%から4.7%に下がった。 「科目K」M率が4.9%から3.8%に下がった。
	「科目L」	「プログラミング駆け込み寺」の利用者を増加させる等の施策を行うとの回答を学科の教員から得た。	「科目L」はE率が2%から0に低下した。
教育創造工学	科目M	ベクトルをやっていないと理解ができないので、理解ができない学生に関しては、基幹教育センターでも対応可能ということをセンターより学科へ伝えていただいた。	不可率はむしろ上昇した。
共通教育科	「科目N」「科目O」	一度学期中に受講し不合格となった者に対して、同一年度内に集中講義にて再履修できるように再履修者用クラスを設けていただいた。	「科目O」のM率が低下した。4%⇒2% E率は横ばいで5.4%であった。
	科目P	元々対策は行われているが、少しでもE,M率が下がるようにご検討いただけるとの回答がいただけた。	「科目P」はM率が5%⇒1.3%と低下した。

